



2020年8月4日

各位

会社名 株式会社ヨコオ  
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之  
 (コード番号6800 東証第1部)  
 問合せ先 取締役兼執行役員専務 深川浩一  
 (TEL 03-3916-3111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2020年5月14日に公表しました2021年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想修正の内容

(1) 第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～9月30日)

	前回発表予想(A) (2020年5月14日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考) 前年同四半期累計実績 (2019年4月1日～9月30日)
売上高(百万円)	25,000	26,000	+1,000	+4.0	29,933
車載通信機器	13,000	14,500	+1,500	+11.5	19,515
回路検査用コネクタ	7,900	7,200	△700	△8.9	6,068
無線通信機器	4,100	4,300	+200	+4.9	4,349
営業利益(百万円)	1,000	1,500	+500	+50.0	2,504
経常利益(百万円)	650	1,150	+500	+76.9	2,211
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	450	800	+350	+77.8	1,645
1株当たり四半期純利益 (円銭)	22.18	39.42	—	—	81.30

(2) 通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

	前回発表予想(A) (2020年5月14日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考)前記実績 (2020年3月期)
売上高(百万円)	55,000	56,500	+1,500	+2.7	60,595
車載通信機器	30,000	33,000	+3,000	+10.0	39,264
回路検査用コネクタ	16,000	14,700	△1,300	△8.1	12,832
無線通信機器	9,000	8,800	△200	△2.2	8,498
営業利益(百万円)	4,000	4,200	+200	+5.0	4,916
経常利益(百万円)	3,650	3,850	+200	+5.5	4,583
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,600	2,700	+100	+3.8	3,440
1株当たり当期純利益 (円銭)	128.17	133.04	—	—	169.85

## 2. 修正の理由

### (1) 第2四半期連結累計期間（上期）

売上高につきましては、回路検査用コネクタセグメントが当初想定を下回る見込みですが、車載通信機器及び無線通信機器の両セグメントが当初想定を上回る見込みであることから、前記1.(1)のとおり上方修正いたします。

営業利益につきましては、原材料価格の上昇により回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントで利益率低下が見込まれる一方で、車載通信機器セグメントの増収及び固定費圧縮による損益改善などを勘案し、前記1.(1)のとおり上方修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初想定通り為替差損 350 百万円を見込みつつ、前記1.(1)のとおり上方修正いたします。

### (2) 通期

売上高につきましては、回路検査用コネクタ及び無線通信機器の両セグメントが当初想定を下回る見込みですが、車載通信機器セグメントが当初想定を上回る見込みであることから、前記1.(2)のとおり上方修正いたします。

各利益につきましては、上期における増益見込み及び下期における事業ミックス変化に伴う利益率の低下見込みなどから、前記1.(2)のとおり上方修正いたします。

なお、想定為替レートは、本年8月以降当期末まで1米ドル=105円としております。

セグメント別の見通しにつきましては下記のとおりです。

#### <車載通信機器セグメント>

売上高においては、当第1四半期において当初想定通り前年同期比45%減となりました。続く第2四半期以降は、当初想定より上方修正し、前年同期をわずかに下回る水準で推移するものと想定しております。

生産面においては、主に中国、ベトナム、北米拠点にて製造を行っております。当第1四半期においては、中国拠点の稼働率は比較的高かったものの、ベトナム及び北米拠点の稼働率が低迷しました。続く第2四半期以降は、いずれの拠点においても受注とともに稼働率が回復するものと想定しております。

#### <回路検査用コネクタセグメント>

売上高においては、当第1四半期において当初想定を上回りました。続く第2四半期以降は、直近の受注見通しを踏まえて当初想定より下方修正し、前年同期比約8%の増加を想定しております。

生産面においては、主にマレーシアと日本拠点にて製造を行っております。当第1四半期においては、マレーシア拠点が現地政府の移動制限令により4月においては生産遅延が生じておりましたが、5月初旬以降は挽回生産により稼働率が回復し、続く第2四半期以降も安定稼働するものと想定しております。

#### <無線通信機器セグメント>

##### ・ファインコネクタ事業

売上高においては、当第1四半期において当初想定を上回りましたが、続く第2四半期以降は、直近の受注見通しを踏まえて増加ペースの鈍化を見込み、通期では当初の想定通りといたします。

生産面においては、主にマレーシアと中国拠点にて製造を行っております。当第1四半期においては、回路検査用コネクタセグメントと同様にマレーシア拠点で4月に生産遅延が生じておりましたが、5月初旬以降は挽回生産により稼働率が回復し、続く第2四半期以降も安定稼働するものと想定しております。中国拠点においても同様に、安定稼働するものと想定しております。

・メディカル・デバイス事業

売上高においては、当第1四半期において当初想定を上回りましたが、続く第2四半期以降は、直近の受注見通しを踏まえて増加ペースの鈍化を見込み、当初想定より若干下回るものと想定しております。

生産面においては、日本拠点にて製造を行っており、安定稼働するものと想定しております。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上